

障害者総合支援「医師意見書用問診票」

記入日 令和 年 月 日

患者氏名 _____ 様 性別 _____
生年月日 明・大・昭・平・令 年 月 日 年齢 _____ 歳
記入者 _____ 様 続柄 _____ TEL _____

1. 傷病についておたずねします。

1-1 他の先生(医師・医院)にかかっていますか？ いる いない

「かかっている」とお答えの方におたずねします。診療科は何ですか？

内科 精神科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 リハビリテーション科 歯科 その他()科)

1-2 診断名は何ですか？(障害の直接の原因になっている傷病名を1.にご記入下さい。)

1. _____ 発症年月日(昭和・平成・令和 年 月 日頃)
2. _____ 発症年月日(昭和・平成・令和 年 月 日頃)
3. _____ 発症年月日(昭和・平成・令和 年 月 日頃)

1-3 入院歴はありますか？(ある方は、直近の入院歴をご記入下さい。)

昭和・平成・令和 年 月～ 年 月(傷病名:)
昭和・平成・令和 年 月～ 年 月(傷病名:)

1-4 症状の経過についておたずねします。

どういった症状があるのか詳しくご記入下さい。(例:イライラする、不眠、外出ができない。)

投薬を受けていた方は投薬内容をご記入下さい。(例:セロクエル、セデコパンなど)

2. 身体の状態についておたずねします。

きき腕はどちらですか？ 右、 左

体重は?()kg、身長は?()cm

・ここ6ヶ月で体重の変化がありましたか？ 増えた 変わらない 減った

(*裏にもございますので、必ずご記入下さい。)

・次の状態がありますか？ ある方は、部位とその程度についてもご記入下さい。

四肢欠損 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

麻痺

右上肢 （程度： 軽度、 中程度、 重度）

右下肢 （程度： 軽度、 中程度、 重度）

左上肢 （程度： 軽度、 中程度、 重度）

左下肢 （程度： 軽度、 中程度、 重度）

その他 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

筋力の低下 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

（過去6ヶ月の症状の変動 改善、 維持、 増悪）

関節の拘縮

肩 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

肘 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

股 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

膝 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

その他 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

関節の痛み 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

（過去6ヶ月の症状の変動 改善、 維持、 増悪）

思い通りにならない体の動きがありますか？ ある、 ない

あると答えた方のみご記入下さい。

・上肢 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

・体の中心 （程度： 軽度、 中程度、 重度）

・下肢 右（程度： 軽度、 中程度、 重度）

左（程度： 軽度、 中程度、 重度）

褥瘡 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

皮膚病 部位：_____（程度： 軽度、 中程度、 重度）

3. 心身の状態についておたずねします。以下の質問事項におきまして、

あてはまると思うところにシ印を付けて下さい。

3-1 行動上の障害についておたずねします。

- 昼夜逆転した生活リズムになっていますか？（ある・時々・ない）
- 家族や他人に暴言をはくことがありますか？（ある・時々・ない）
- 自傷行為を行うことはありますか？（ある・時々・ない）
- 家族や他人に暴力をふるうことがありますか？（ある・時々・ない）
- 介護する際に抵抗して、世話ができないことがあるりますか？（ある・時々・ない）
- 目的もなく出歩き、迷子になったりする事がありますか？（ある・時々・ない）
- ガスの消し忘れなど、火の不始末がありますか？（ある・時々・ない）
- 風呂に入らなかつたり、下着を何日も替ええないなど不潔な行動がありますか？（ある・時々・ない）
- 紙や消しゴムなど通常食べられない物を食べることはありますか？（ある・時々・ない）
- 性的問題行動がありますか？（ある・時々・ない）
- その他（具体的にお書き下さい）

3-2 精神症状についておたずねします。

- 注意力や思考力が低下して錯乱状態に陥ったり、気持ちがひどく混乱することがある。
- 十分に睡眠をとっているにもかかわらず、眠くて寝てしまうことがある。
- 実際にはいない人や、虫、動物などがみえると言うことがある。
- 実際にはいない人の声や、物音が聞こえると言うことがある。
- 誰かが自分にテレパシー送っているなど、実際にはない事を言う事がある。
- 時間、場所、自分の置かれた状況を認識できないことがある。
- 身近な人々や有名でよく知っているはずの人の顔を識別することができなかつたりすることがある。
- 四肢の運動機能には問題がないにもかかわらず、一定の運動や行為を正しく行なうことができない。
- 物忘れがひどい。
- 記憶力がひどく低下している。
- 注意したり集中することができない。
- 目標を定め、計画性を持ち、長期的な展望で行動することが難しい。
- 欲求のコントロールができず、感情を爆発させることがある。
- その他（具体的にお書き下さい。）

3-3-1 食事についておたずねします。

- 偏食や過食にはならず、バランスのとれた食事を大体いつも決まった時間に取りることができる。
- 頻繁に出前を取ったりする必要があるが、大体自主的にバランスのとれた食事を決まった時間に取りることができる。
- 助言や援助がなければ、偏食したり、過食になったり、食事を取る時間が不規則になる。
- いつも同じ物を食べたり、過食になったり、食事内容が偏っており、食事の時間も不規則である。
強い助言や援助を必要とする。
- 常に食事に目を配っておかないと、偏食、過食などの問題がある。

(*裏にもございますので、必ずご記入下さい。)

3-3-2 生活リズムについておたずねします。

- 一定の時刻(午前9時まで)には自分で起きる事ができ、自分で時間の過ごし方を決め、行動できる。
- 時に寝過ごすことはあるが、大体、自分なりのリズムが確立している。就寝時間のばらつきは1時間程度である。
- 助言がなければ寝過ごし、就寝時間は1~2時間程度のばらつきがある。週に1回以上生活リズムを乱すことがあるが、元に戻る。
- 起床時間が遅く、週に1回以上生活リズムを乱すことがあり、すぐには元には戻らない。強い助言や援助を必要とする。
- 床に伏せがちで、頻繁に昼夜逆転をしたりする。

3-3-3 保清についておたずねします。

- 洗面、整髪、ひげそり、入浴、着替えなどを自主的に問題なく行える。必要に応じて自主的に自室の掃除や片づけができる。
- 洗面、整髪、ひげそり、入浴、着替えなどをある程度自主的に行える。回数は少ないが、自室の掃除や片づけを大体自主的に行える。
- 身体を清潔に保つことや、自室の掃除、片づけについて週に1回程度の助言や援助がなければ、自身の衛生管理ができず、部屋が乱暴になったりゴミが溜まったりする。
- 助言や援助をしても自身の衛生管理や自室の掃除や片づけができないか、しない。

3-3-4 金銭管理についておたずねします。

- 1ヶ月程度のやりくりができ、大切な物を自分で管理できる。
- 時に月の収入を超える出費をしてしまい、食費など必要な出費を控えたりすることがあるが、ある程度やりくりができる。また時々、大切な物をなくしてしまうことがあるが、おおむね自分で管理ができる。
- 1週間程度のやりくりは大体できるが、時に助言を必要とする。また、大切な物をなくしてしまう為に時に助言が必要になる。
- やりくりがほとんどできず、3~4日に1度くらいの割合で相談する必要がある。大切な物の管理も一人では難しく、強い援助や助言を必要とする。
- 持っているお金をすぐに使ってしまいお金の管理ができない。大切な物の管理が自分ではまったくできない。

3-3-5 服薬管理についておたずねします。

- 薬の必要性を理解し、適切に自分で管理ができる。
- 薬の必要性を理解しているしないにかかわらず、週に1回程度は飲み忘れることもあるが、助言が必要なほどではない。
- 薬の必要性は理解しておらず、週に2回以上ほどは飲み忘れるので助言を必要とする。
- 飲み忘れや、飲み方を間違えたり、拒薬、大量服薬をすることがしばしばある。強い援助や助言を必要とする。
- 助言や援助をしても服薬しないか、できない。

3-3-6 対人関係についておたずねします。

- 近所、仕事場、友人関係などで大きなトラブルを起こさず行動することができる。また、必要に応じて誰に対しても自分から話をしたり、同世代の友人を作り、継続して付き合うことができる。
- 近所、仕事場、友人関係などであまり大きなトラブルを起こさず、行動することができる。おおむね誰に対しても自分から話をしたり、同世代の友人を作ることができ、継続して付き合うことができる。
- 時に助言がなければ孤立しやすく、他人の行動に合わせられなかったり、挨拶や事務的なことも自分からはできない。また、助言がなければ、同世代の友達を作り、継続して付き合うことができない。
- 近所や集団から孤立しがちであり、周囲への配慮を欠いた行動を取ることがたびたびあり、強い助言や援助を必要とする。
- 助言や援助をしても他者との人間関係を結べず、あるいは関係を持とうとせず、人付き合いがまったくなく、孤立している。

3-3-7 社会的不適応行動についておたずねします。

- 周囲に恐怖や不安を与えたり、小さくても犯罪行為を行ったり、どこへいくのかわからないなどの行動は見られない。
- この1ヶ月に上記のような行動は見られなかったが、それ以前にはあった。
- この1ヶ月に上記のような行動が何回かあった。
- この1週間に上記のような行動が数回あった。
- 上記のような行動が毎日のように頻回にある。

3-4 専門・神経症状についておたずねします。

- 自己と周囲の環境を正しく認識できなくなったり、周囲の環境に対し適切な反応ができない。
- 新しい情報や出来事を覚えられない、以前の出来事や体験が思い出せない。
- 一つのことに集中したり、多数の中から注意して必要な情報を選ぶことが困難である。
- 目的に沿った行動がとれず、自分の行動を制御したり管理することができない。
- すぐに他人に頼る、意欲の低下、欲求のコントロールができないなどの社会的行動に障害がある。
- 上記以外の、日常生活を送る上で必要な記憶、判断が困難となる。
- 急にやる気が起きなくなったり、急に活発になることがある。
- 睡眠の質や睡眠時間に問題がある。
- 実際は見えないものが見えたり、無音の場所で音が聞こえるということがある。
- 実際にはありえない、また常識を超えた内容を確信を持って信じている。
- その他()

専門医の受診をしたことがありますか？

- なし、 有り(何科を受診されましたか？ 科)

3-5 てんかんをお持ちですか？

- なし
- 有り→有の場合、頻度をご記入下さい。(□週1回以上、 □月1回以上、 □年1回以上)

(*裏にもございますので、必ずご記入下さい。)

